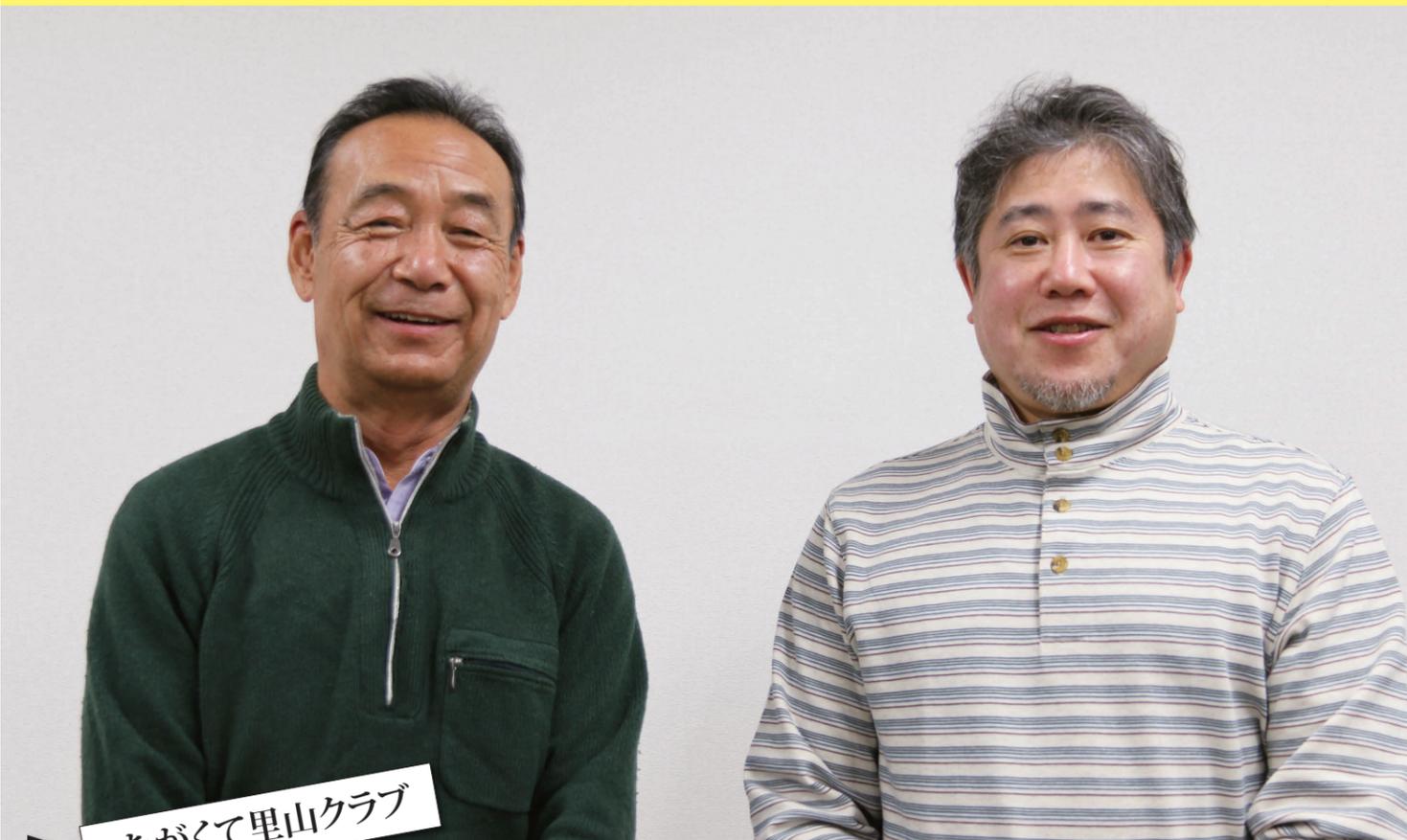


# わたしのまちづくり



「市民主体のまちづくり」と言われてみなさんは何か具体的なイメージがありますか？  
ここでは、主体的に活動している市民に情報課職員が取材したことを紹介します。



ながくて里山クラブ

やまざき たかし  
山崎 隆志 さん

よこ まさおみ  
代表 與語 雅臣 さん

情：竹ってなんか風情があるし、いっぴいあってもいい気がするのですが…。

里：とんでもない!!竹ってめちゃくちゃ高く

まで育つんです。そうすると伸びすぎた竹にさえぎられて、背の低い木に日光が当たらなくて全然育たないんです。常に葉がついている常緑樹が多過ぎるとよくない理由もこれと同じです。次の木が育たないと、世代交代が起きない。そうすると、生態系も崩れてしまっんです。整備された竹林、常緑樹と落葉樹がバランスよく生えている里山、そんなのを目指して私たちは活動しているわけです。

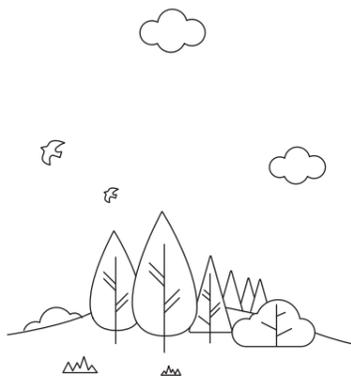
情：なるほど。多ければいいってもんじゃないんですね。活動されてみてどうですか？

里：私たちがやっていることによって、すぐに成果が見えるものじゃないので、なかなかもどかしいところもあります。でも、仲間たちと週に一回集まってわいわい活動する。それだけでも十分楽しいです。それに、かつて自分たちが見ていた、本当に美しい長久手の里山をもう一度よみがえらせたいんです。自分の子どもたちの世代、さらにその次の世代の子たちにも見せてあげたい。そんな想いでやっています。

情：未来のために活動されているんですね。この先が楽しみです。今回は知らないうちにほか

里：さっきも言ったみたいに、今の活動はすぐは成果が見えないので、もどかしいところもあります。やっぱり頑張っていると、成果が欲しくなっちゃいますよね。みなさんもそうじゃないですか？でも、すぐに成果を出さなくていいと思うんですよ。ゆっくりでも地道に続けていけば、いつか何かが変わるはずですよ。「里山ひろり」はもちろんですけど、「まちひろり」「も」人生「なんかも、そういうもんかなって。焦らずゆっくり、楽しむことを忘れない。そうしたらうまくいく気がします。「まちひろり」にも色々ありますが、例えば「里山ひろり」。みなさんも私たちと一緒に、ゆっくり「まちひろり」を楽しみませんか。それならきっといい未来が待っているんじゃないですかね。

り、でも勉強になりました。それでは、最後に市民のみなさんにメッセージをお願いします。



「里山」が長久手市の新たな魅力となり、市民が『行ってみたい「里山」』と思えるような姿を目標として活動している、ながくて里山クラブさんにお話を伺いました。

情報課職員(以下「情」)：今日はよろしくお願います。早速ですが、ながくて里山クラブについて教えてください。

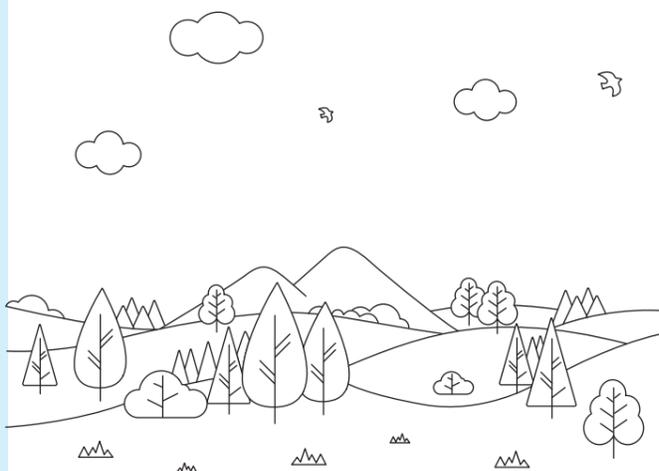
ながくて里山クラブ(以下「里」)：ながくて里山クラブは、毎週火曜日に集まって放置された竹藪や散策路とかの整備なんかをやっています。現在はリタイア世代を中心に19人の会員がいます。

情：なるほど。長久手の東の方って緑が多くてきれいですもんね。その緑を整備してください。てるのがみなさんなんですね。

里：うーん。ちょっと違います。みなさんはよく、長久手は自然豊かで緑が多くていいですね。っておっしゃるんですけど、実は、長久手の緑の3割が「よくない緑」なんです。

情：え!?「よくない緑」ってなんですか?緑って自然のことですよ。それなら、いいものだし、いっぴいあったほうがいいんじゃないですか?

里：それが、そうでもないんですよ。大切なのは「いい緑」がたくさんあることです。整備されていない、例えば伸び切った竹藪とかは「よくない緑」です。



## 里山講演会 問みどりの推進課 ☎56-0552

テーマは「カブトムシとクワガタムシ」です。愛知県で生息している種類や、里山の植生遷移との関係など、身近に生息しているカブトムシとクワガタムシについて詳しく学ぶことができます。

時 2月21日(日) 10:00~12:00

場 市役所西庁舎 研修室

内 講師：北岡明彦さん  
(自然観察指導員、とよた森林学校主任講師)

対 小学校4年生以上 30人(先着)

申 2月1日(月)~19日(金)にみどりの推進課窓口、電話またはメールで申込

他 協力：ながくて里山クラブ